

「ねんきん定期便の加入履歴等及び、くらしと仕事に関するインターネット調査」調査票

## 調査目的等の説明

- 本調査は、科学研究費補助金を受けた学術調査であり、ねんきん定期便に記載されている公的年金の加入履歴、保険料納付行動や就業行動などを調査することにより、人々のライフスタイルに応じた社会政策のあり方を検討するための基礎資料を得ることを目的としています。
- また、本調査では、毎年年金加入者に送付される「ねんきん定期便」の記載事項を一部転記していただきますが、個人が特定される恐れのある項目（お名前やご住所）が外部に漏れることがないように管理を徹底するとともに、その転記は皆様にはお願いしません。調査結果は統計的に処理しますので、個別の回答内容が公になることはありません。また、商品のマーケティングや税金の徴収等に使用されることもありません。よろしくご協力いただきますよう、お願い申し上げます。

## スクリーニング調査

- ※ ねんきん定期便（全期間の加入記録が記載されたもの）を手元に保管している者（共済組合加入員を除く）を調査客体とするためのスクリーニング。

（質問1）あなたは、過去の加入履歴や保険料納付履歴がすべて記載された「ねんきん定期便」をお手元にお持ちですか。（ねんきんネットサービスは用いない）

1. 過去の加入履歴や保険料納付履歴がすべて記載された「ねんきん定期便」を保管している。
2. いいえ

※ 「2. いいえ」の場合は、調査終了

（質問2）あなたのお持ちのねんきん定期便に、次の表はありますか。お手元にある表をすべてお選びください。

1. ねんきん定期便
2. これまでの『年金加入履歴』です
3. 厚生年金保険の標準報酬月額と保険料納付額の月別状況です
4. これまでの国民年金保険料の納付状況です

※ 1と2は必須。3と4は少なくともいずれか一方がない場合は、調査終了

(質問 3) あなたは、共済組合（国家公務員共済組合、地方公務員共済組合、私立学校教職員共済組合など）に加入していたことがありますか。

1. はい
2. いいえ

※「1. はい」の場合は、調査終了

(質問 4) あなたがお持ちの「ねんきん定期便」に記載漏れや誤りはありましたか。

1. はい
2. いいえ

※「1. はい」の場合は、調査終了

(質問 5) 調査に対するパーミッションに関する質問

※パーミッションが得られない場合は、調査終了

## 本調査

### A 基本的な属性

(問 A-1) あなたの性別 (事前登録の情報から作成)

1. 男
2. 女

(問 A-2) 都道府県番号 (※事前登録の情報から作成するので、実査の質問項目には含まれない)  
( )

(問 A-3) あなたの生年月

昭和\_\_\_\_\_年\_\_\_\_\_月生まれ

事前登録の情報に含まれているが、実査の質問項目とする。

### B 「ねんきん定期便」からの転記事項

問 B-1 から問 B-1 までは、お手元の「ねんきん定期便」から転記してください。

- ねんきん定期便
- これまでの『年金加入履歴』です
- 厚生年金保険の標準報酬月額と保険料納付額の月別状況です
- これまでの国民年金保険料の納付状況です

○ ねんきん定期便の最初のページ (左上に青地に白抜きで「ねんきん定期便」と書かれているページ) から転記します。

(問 B-1) このページの中ほど (基礎年金番号の右もしくは上) に書かれている加入記録の時点転記してください

この「ねんきん定期便」は、平成\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日時点の年金加入記録に基づき作成されています。

(問 B-2) これまでの年金加入期間を転記してください。(※合計をチェック)

国民年金			厚生年金保険	船員保険	年金加入 期間合計 (未納期間を除く)
第1号被保険者 (未納期間を除く)	第3号被保険者	国民年金計 (未納期間を除く)			
月	月	月	月	月	月

(問 B-3) これまでの保険料納付額を転記してください。(※合計をチェック)

(1) 国民年金 (第 1 号被保険者期間の保険料納付額)	(累計額)	円
(2) 厚生年金保険 (厚生年金被保険者期間の保険料納付額)	(累計額)	円
これまでの保険料納付額 【国民年金・厚生年金保険合計】	(累計額)	円

(問 B-4) このページの下部に記載されている「国民年金被保険者期間における未納月数」と「厚生年金基金の加入期間」を転記してください。

1. 国民年金被保険者期間における未納月数 \_\_\_\_\_月
2. 厚生年金基金の加入期間 (カッコ内の月数) \_\_\_\_\_月

※ 下図の黄色の部分の月数を記入するよう指示すること

⑦国民年金								⑧厚生年金保険		⑨船員保険		⑩年金加入期間合計 (未納月数を除く)
納付済月数	全額免除月数	4分の3免除月数	半額免除月数	4分の1免除月数	学特等月数	第3号月数	納付済等月数	加入月数 (基金)	加入期間 (基金)	加入月数	加入期間	
国民年金被保険者期間における未納月数				付加保険料納付月数 (再掲)				( )	( )			

○ 加入制度が「厚年」又は「船保」となっている期間について、勤め先の名称などから、企業に就職・転職・離職した際の状況をできる限り正確に思い出して、以下の点にご留意いただき、ご記入ください。

ご回答いただくのは、「②加入制度」が「厚年」もしくは「船保」となっている行についてです。「国年」となっている行は無視してください。

同一の企業内での人事異動 (部署・支店間の異動や企業の合併など) が別々の記録になっている場合がありますが、これは転職とはみなしません。この場合、その企業における、最初の「④資格を取得した年月日」と最後の「⑤資格を失った年月日」を記載してください。

(「ねんきん定期便」の記載例)

①番号	②加入制度	③お勤め先の名称等	④資格を取得した年月日	⑤資格を失った年月日	⑥加入月数
001	厚年	〇〇銀行 国立支店	昭和 50. 4. 1	昭和 59. 4. 1	108
002	厚年	〇〇銀行 新宿支店	昭和 59. 4. 1	平成 10. 6. 1	170
003	厚年	△△銀行 池袋支店	平成 10. 6. 1	平成 17. 8.10	110
004	国年	第 1 号被保険者	平成 17. 8.10		44

(注) 資格を失った日は、退職した日の翌日が記載されています。

※ 回答者への記入上の留意事項

001 から 003 は同じ企業（上記の「△△銀行」は「〇〇銀行」がのちに合併した会社名）なので、

- 資格を取得した年月日は、昭和 50 年 4 月 1 日
- 資格を失った年月日は、平成 17 年 8 月 10 日（空欄の場合は、空欄のままにしておいてください）と記入してください。

004 は、「国年」ですから、記入不要です

- ※ 厚生年金は、事業所ごとに適用されている場合と企業一括で適用されている場合がある。前者の場合は、社内の人事異動（たとえば、支店間の異動）でも、資格を取得した日と失った日について複数記録される。ここでは、企業単位での就職・転職・退職の記録を調査することとした。
- ※ 資格を失った日は、退職した翌日である。したがって、退職日は資格を失った日の前日になることに留意が必要。
- ※ 資格を取得した日のある月は厚生年金の被保険者であるが、資格を失った日がある月は厚生年金の被保険者とはならない。

(質問 B5) 「ねんきん定期便」のこれまでの『年金加入履歴』をご覧になりながら、あなたのこれまでの  
 お勤め先の状況など、以下の点についてドロップダウンリストから選択してください。

- (ア) 資格を取得した年月日（「ねんきん定期便」から転記してください）
- (イ) 資格を失った年月日（「ねんきん定期便」から転記してください）
- (ウ) 新たに就職または転職した企業の規模（お勤めの事業所の規模ではなく、企業全体の規模）
- (エ) 新たに就職又は転職した企業の業種
- (オ) 新たに就職または転職した企業での職種（就職または転職された時点での状況）
- (カ) 新たに就職または転職した企業での就業形態（ 〃 ）
- (キ) 新たに就職または転職した企業での雇用契約形態（ 〃 ）
- (ク) 新たに就職または転職にあたって、公的な職業訓練に参加しましたか
- (ケ) 企業を転職又は離職した理由（※資格を失った年月日がある場合のみ表示。ない場合は“－”）

整理記号	ねんきん定期便から、年月日を転記してください。同一の企業での人事異動などの場合は、最初と最後だけを記入してください。		新たに就職されたときの企業の状況をお答えください		新たにその企業に就職されたときのあなたの就業状況等についてお答えください				離職された場合
	資格を取得した年月日	資格を失った年月日	企業の規模	企業の業種	職種	就業形態	雇用契約形態	公的な職業訓練	離職した理由
A	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)	(カ)	(キ)	(ク)	(ケ)
B									
C									
D									

- ※ 整理記号は、「ねんきん定期便」に記載されている番号と混同しないよう、アルファベットを用い、1行ずつ追加する。
- ※ 加入期間（資格を取得した年月から失った年月日の前日の月まで。勤続中の場合は、質問 B1 の年月日の前々月までとする。）の合計が質問 B2 の厚生年金の加入期間と大きく異なる場合（12 か月以上）は、この職歴に漏れや記入ミスがないかどうか警告を出すこと。
- ※ 最大で 10 件まで（10 件を超える場合は記入を打ち切る）
- ※ ドロップダウンリストの選択肢等は、次のとおり

(ア) 資格を取得した年月日（「ねんきん定期便」から転記してください）  
 年、月、日（年は、昭和 40 年から平成 23 年まで）

(イ) 資格を失った年月日（「ねんきん定期便」から転記してください）  
 年、月、日（年は、昭和 40 年から平成 23 年まで。リストの最初に、“－”を表示）

(ウ) 新たに就職または転職した企業の規模（お勤めの事業所の規模ではなく、企業全体の規模）

- ①5人未満、②5-29人、③30-99人、④100-299人、⑤300-499人、⑥500-999人、⑦1000-4999人、⑧5000人以上

(エ) 新たに就職又は転職した会社の業種

- ①農林漁業、②建設、③製造、④情報通信、⑤運輸・郵便、⑥卸売・小売、⑦金融・保険、⑧不動産、⑨学術研究、⑩宿泊・飲食、⑪娯楽、⑫教育、⑬医療・福祉、⑭その他

(オ) 新たに就職または転職した企業での職種（就職または転職された時点での状況）

- ①専門的・技術的な仕事、②管理的な仕事、③事務の仕事、④販売の仕事、⑤サービスの仕事、⑥保安の仕事、⑦運輸・通信の仕事、⑧生産工程・労務の仕事、⑨わからない

(カ) 新たに就職または転職した企業での就業形態（ 〃 ）

- ①正社員、②契約社員、③嘱託社員、④出向社員、⑤派遣労働者、⑥臨時的雇用者、⑦パートタイム労働者、⑧その他

(キ) 新たに就職または転職した企業での雇用契約形態（ 〃 ）

- ①期限の定めはない、②1年以上5年以下、③1か月以上1年未満、④1か月未満

(ク) 新たに就職または転職にあたって、公的な職業訓練に参加しましたか

- ①公的な職業訓練プログラムに参加した
- ②自費で専門学校などに通ったり、通信教育やセミナーに参加した
- ③前の（あるいは新たな）会社もちで専門学校などに通ったり、通信教育やセミナーに参加した
- ④何もしていない

(ケ) 企業を転職又は離職した理由

- ①倒産・整理解雇・希望退職への応募
- ②定年・出向（嘱託等として再雇用された場合を含む）
- ③普通解雇
- ④契約期間満了（出稼ぎを含む）
- ⑤結婚・出産・育児など
- ⑥親の介護など
- ⑦その他（自己都合など）

○ ねんきん定期便の3ページ以降から、各年度の4月の厚生年金保険料の標準報酬月額または国民年金保険料の納付状況を転記していただきます。転記を容易にするために、まず、厚生年金・国民年金のいずれの制度に加入していたかについて、お答えいただきます。

(問 B-6) 上部に青地に白抜きで「厚生年金保険の標準報酬月額と保険料納付額の月別状況です」と書かれているページと「これまでの国民年金保険料の納付状況です」と書かれているページを見ながら、各年度の4月に、どちらの制度に加入していたかをお答えください。(どちらか一方の制度にのみ加入されていた方は、一方のページのみお手元にあるはずです。)

年度	4月の記録が記載されている制度
15歳の年度から平成23年度まで、順に、自動的に表示	「厚生年金保険」「国民年金」「いずれも加入していない・記載なし」の三択

○ 上部に青地に白抜きで「厚生年金保険の標準報酬月額と保険料納付額の月別状況です」と書かれているページから転記します。

(問 B-7) 「厚生年金保険の標準報酬月額と保険料納付額の月別状況」と書かれているページから転記してください。なお、転記する欄は、4月分の標準報酬のみです。

年度	4月(標準報酬)
質問 B6 で厚生年金保険に加入していた年度を自動的に表示(厚生年金保険の加入期間がない場合は、質問 B8 へ)	____,000
	____,000
	____,000
	____,000
	↓
	____,000
	____,000

- ※ 標準報酬の範囲が広いので、ドロップダウンリストではなく、数字を入力する。ただし、標準報酬の一覧表(年度別)にない数字が入力された場合は、再入力とする。
- ※ 年度は元号で表示。平成元年は平成1年とする。(「ねんきん定期便」の表示に合わせる)
- ※ 4月の記録が最も左(年度の記載部分に近いところ)に記載されていることから、4月の記録を転記することとした。



○ 上部に青地に白抜きで「これまでの国民年金保険料の納付状況です」と書かれているページから転記します。

(問 B-8) 「これまでの国民年金保険料の納付状況です」と書かれているページから転記してください。  
 なお、転記する欄は、年度と 4 月分の月別納付状況のみです。

年度	4 月 (月別納付状況)
質問 8 で国民年金に加入していた年度を	
自動的に表示 (国民年金の加入期間がない	
場合は、質問 11 へ)	↓

※ 月別納付状況は、リストを表示する。選択肢 (表示期間) は、以下のとおりとし、年度により異なるものとする。(制度の施行時期が異なるため)

- 納付済： 全期間
- 未納： 全期間
- 3号： 昭和 61 年以降
- 全免： 全期間
- 半免： 平成 14 年以降
- 半未： 平成 14 年以降
- 3/4 免： 平成 19 年以降
- 3/4 未： 平成 19 年以降
- 1/4 免： 平成 19 年以降
- 1/4 未： 平成 19 年以降
- 学特等： 平成 12 年以降
- 付加： 全期間
- \*\*\*： 昭和 51 年以前

※ 年度は元号で表示。平成元年は平成 1 年とする。(「ねんきん定期便」の表示に合わせる)

転記項目は以上です。以下では、転記していただいた情報を踏まえながら、質問にお答えください。

### C 「ねんきん定期便」からの転記事項に追加する調査項目

(問 C-1) 以下に示すのは、これまで記入していただいた情報をあなたのこれまでの年齢ごとにまとめたものです。誤りはありませんか。間違っている場合は、修正してください。なお、年齢は、各年の3月末時点のものです。

#### 【回答参考例】

1966年生まれ（調査年で45歳）

年齢	年	厚生年金 標準報酬	国民年金 納付状況
15	1981年4月	—	—
16	1982年4月	—	—
17	1983年4月	—	—
18	1984年4月	—	—
19	1985年4月	—	—
20	1986年4月	122,000	—
21	1987年4月	123,000	—
22	1988年4月	123,000	—
23	1989年4月	124,000	—
24	1990年4月	125,000	—
25	1991年4月	125,000	—
26	1992年4月	125,000	—
27	1993年4月	—	3号
28	1994年4月	—	3号
29	1995年4月	—	3号
30	1996年4月	—	3号
31	1997年4月	—	3号
32	1998年4月	—	3号
33	1999年4月	—	3号
34	2000年4月	—	3号
35	2001年4月	100,000	—
36	2002年4月	101,000	—
37	2003年4月	102,000	—
38	2004年4月	102,000	—
39	2005年4月	—	—
40	2006年4月	—	—
41	2007年4月	—	—
42	2008年4月	—	—
43	2009年4月	—	—
44	2010年4月	—	—
45	2011年4月	—	—

(問 C-2) これまでの各年 4 月時点において、あなたはどのようなお仕事をしていましたか、あるいは学生でしたか。以下の中から選んでお答えください。

1. 経営者・役員
2. 正規の職員、従業員
3. 自営業・自由業
4. パート
5. アルバイト
6. 労働者派遣事業所の派遣社員
7. 契約社員
8. 嘱託
9. 家族従業者・内職
10. その他（具体的に )
11. 収入に伴う仕事はせず、求職活動中だった
12. 収入に伴う仕事はせず、求職活動もしていなかった（家事手伝いなど）
13. 収入に伴う仕事はせず、家事・育児に専念していた
14. 学生（高校生、大学生、短大生、高専生、予備校生など）

**【回答参考例】**

年齢	年	厚生年金 標準報酬	国民年金 納付状況	お仕事
15	1981年4月	—	—	12
16	1982年4月	—	—	12
～	～			
22	1988年4月	—	—	12
23	1989年4月	124,000	—	1
24	1990年4月	125,000	—	1
25	1991年4月	125,000	—	1
26	1992年4月	125,000	—	1
27	1993年4月	—	3号	2
28	1994年4月	—	3号	2
29	1995年4月	—	3号	11
30	1996年4月	—	3号	11
31	1997年4月	—	3号	11
32	1998年4月	—	3号	11
33	1999年4月	—	3号	11
34	2000年4月	—	3号	11
35	2001年4月	100,000	—	1
36	2002年4月	101,000	—	1
37	2003年4月	—	3号	1
38	2004年4月	—	3号	2
39	2005年4月	—	3号	2
40	2006年4月	—	3号	2
41	2007年4月	—	3号	2
42	2008年4月	225,000	—	1
43	2009年4月	235,000	—	1
44	2010年4月	235,000	—	1
45	2011年4月	235,000	—	1

(問 C-3) 各年4月時点において、あなたの婚姻状態やお子さまはどのようなようでしたか。婚姻状態については、「0=未婚、1=配偶者あり(内縁関係を含む)、2=配偶者と離別、3=配偶者と死別」でお答えください。お子さまについては、お子さまの人数(同居しているお子さま、あるいは、就学のために別居して仕送りを受けているお子さまに限定します)をお答えください。

**【回答参考例】**

年齢	年	厚生年金 標準報酬	国民年金 納付状況	お仕事	配偶者 の有無	子ども の人数
15	1981年4月	—	—	12	0	0
16	1982年4月	—	—	12	0	0
~	~					
22	1988年4月	—	—	12	0	0
19	1985年4月	—	—	1	0	0
20	1986年4月	122,000	—	1	0	0
21	1987年4月	123,000	—	1	0	0
22	1988年4月	123,000	—	1	0	0
23	1989年4月	124,000	—	1	0	0
24	1990年4月	125,000	—	1	0	0
25	1991年4月	125,000	—	1	0	0
26	1992年4月	125,000	—	1	0	0
27	1993年4月	—	3号	2	1	0
28	1994年4月	—	3号	2	1	0
29	1995年4月	—	3号	11	1	1
30	1996年4月	—	3号	11	1	1
31	1997年4月	—	3号	11	1	1
32	1998年4月	—	3号	11	1	2
33	1999年4月	—	3号	11	1	2
34	2000年4月	—	3号	11	1	2
35	2001年4月	100,000	—	1	1	2
36	2002年4月	101,000	—	1	1	2
37	2003年4月	—	3号	1	1	2
38	2004年4月	—	3号	2	1	2
39	2005年4月	—	3号	2	1	2
40	2006年4月	—	3号	2	1	2
41	2007年4月	—	3号	2	1	2
42	2008年4月	225,000	—	1	2	2
43	2009年4月	235,000	—	1	2	2
44	2010年4月	235,000	—	1	2	2
45	2011年4月	235,000	—	1	2	2

(問 C-4) 各年4月時点において、あなたは、ご自身のご両親あるいは配偶者のご両親と同居していましたか。同じ敷地内や同じマンションの建物の中で別々に住んでいる場合も、同居とみなします。

0 いずれとも同居せず

1 ご自身のご両親（父母どちらか一方だけの場合を含む）と同居

2 配偶者のご両親（父母どちらか一方だけの場合を含む）と同居

3 ご自身のご両親 および 配偶者のご両親（いずれも父母どちらか一方だけの場合を含む）と同居

**【回答参考例】**

年齢	年	厚生年金 標準報酬	国民年金 納付状況	お仕事	配偶者 の有無	子ども の人数	親との 同居
15	1981年4月	—	—	12	0	0	1
16	1982年4月	—	—	12	0	0	1
～	～						
22	1988年4月	—	—	12	0	0	0
23	1989年4月	124,000	—	1	0	0	0
24	1990年4月	125,000	—	1	0	0	0
25	1991年4月	125,000	—	1	0	0	0
26	1992年4月	125,000	—	1	0	0	0
27	1993年4月	—	3号	2	1	0	0
28	1994年4月	—	3号	2	1	0	0
29	1995年4月	—	3号	11	1	1	0
30	1996年4月	—	3号	11	1	1	0
31	1997年4月	—	3号	11	1	1	0
32	1998年4月	—	3号	11	1	2	0
33	1999年4月	—	3号	11	1	2	0
34	2000年4月	—	3号	11	1	2	0
35	2001年4月	100,000	—	1	1	2	2
36	2002年4月	101,000	—	1	1	2	2
37	2003年4月	—	3号	1	1	2	2
38	2004年4月	—	3号	2	1	2	2
39	2005年4月	—	3号	2	1	2	2
40	2006年4月	—	3号	2	1	2	2
41	2007年4月	—	3号	2	1	2	2
42	2008年4月	225,000	—	1	2	2	1
43	2009年4月	235,000	—	1	2	2	1
44	2010年4月	235,000	—	1	2	2	1
45	2011年4月	235,000	—	1	2	2	1

(問 C-5) 各年4月時点において、あなたの配偶者はどのようなお仕事をしていましたか。以下の中から選んでお答えください(未婚だった時期、配偶者と離別・死別されていた時期については、回答不要です)。

1. 経営者・役員
2. 正規の職員、従業員
3. 自営業・自由業
4. パート
5. アルバイト
6. 労働者派遣事業所の派遣社員
7. 契約社員
8. 嘱託
9. 家族従業者・内職
10. その他(具体的に )
11. 収入に伴う仕事はせず、求職活動中だった
12. 収入に伴う仕事はせず、求職活動もしていなかった(家事手伝いなど)
13. 収入に伴う仕事はせず、家事・育児に専念していた
14. 学生(高校生、大学生、短大生、高専生、予備校生など)

【回答参考例】

年齢	年	厚生年金 標準報酬	国民年金 納付状況	お仕事	配偶者 の有無	子ども の人数	親との 同居	配偶者の お仕事
15	1981年4月	—	—	12	0	0	1	—
16	1982年4月	—	—	12	0	0	1	—
～	～							
22	1988年4月	—	—	12	0	0	0	—
23	1989年4月	124,000	—	1	0	0	0	—
24	1990年4月	125,000	—	1	0	0	0	—
25	1991年4月	125,000	—	1	0	0	0	—
26	1992年4月	125,000	—	1	0	0	0	—
27	1993年4月	—	3号	2	1	0	0	1
28	1994年4月	—	3号	2	1	0	0	1
29	1995年4月	—	3号	11	1	1	0	1
30	1996年4月	—	3号	11	1	1	0	1
31	1997年4月	—	3号	11	1	1	0	1
32	1998年4月	—	3号	11	1	2	0	1
33	1999年4月	—	3号	11	1	2	0	1
34	2000年4月	—	3号	11	1	2	0	1
35	2001年4月	100,000	—	1	1	2	2	1
36	2002年4月	101,000	—	1	1	2	2	1
37	2003年4月	—	3号	1	1	2	2	1
38	2004年4月	—	3号	2	1	2	2	1
39	2005年4月	—	3号	2	1	2	2	1
40	2006年4月	—	3号	2	1	2	2	1
41	2007年4月	—	3号	2	1	2	2	1
42	2008年4月	225,000	—	1	2	2	1	—
43	2009年4月	235,000	—	1	2	2	1	—
44	2010年4月	235,000	—	1	2	2	1	—
45	2011年4月	235,000	—	1	2	2	1	—

(問 C-6) 各年4月時点において、あなたは以下のどの地域にお住まいでしたか（年金制度に加入する以前の時期については回答不要です）。

1. 京浜大都市圏（東京・横浜への通勤圏内）
2. 中京大都市圏（名古屋への通勤圏内）
3. 京阪神大都市圏（京都・大阪・神戸への通勤圏内）
4. 上記の三大都市圏以外

以下では、現在の状況についてお尋ねします。

#### **D. 本人・家族関係**

(問 D-1) あなたの現在の婚姻状況について教えてください。

1. 結婚している（再婚、内縁関係を含む）
2. 同棲している
3. 離婚した
4. 別居している（単身赴任は同居とみなします）
5. 死別した
6. 未婚である

(問 D-2) あなたの現在のお仕事は、次のどれにあたりますか。

1. 経営者・役員
2. 正規の職員、従業員
3. 自営業・自由業
4. パート
5. アルバイト
6. 労働者派遣事業所の派遣社員
7. 契約社員
8. 嘱託
9. 家族従業者・内職
10. その他（具体的に ）
11. 収入に伴う仕事はせず、求職活動中だった
12. 収入に伴う仕事はせず、求職活動もしていなかった（家事手伝いなど）
13. 収入に伴う仕事はせず、家事・育児に専念していた
14. 学生（高校生、大学生、短大生、高専生、予備校生など）

(問 D-3) あなたの最終学歴について、あてはまるものをお選びください。中退された場合は、その前の段階の卒業についてお答えください（例：「大学中退」なら「高校卒業」）。

1. 中学卒業
2. 高校卒業
3. 専門学校卒業

4. 短期大学・高専卒業
5. 大学学部卒業
6. 大学院修了
7. その他

(問 D-4) 現在あなたと同居している家族の人数を、あなた自身を含めてお答えください。単身赴任中の配偶者、就学中で仕送りをしているお子さまは、別居中でも同居している人数に含めてください。

\_\_\_\_\_人

(問 D-5) 前問でお答えになった、同居している家族の続柄をすべてお選びください。

1. 配偶者（内縁を含む。同棲中のパートナーは含まない）
2. 子ども
3. 子どもの配偶者
4. 孫
5. あなたの父母
6. 配偶者の父母
7. 祖父母
8. 兄弟姉妹
9. その他（同棲中のパートナーなど）

(問 D-6) あなたと配偶者のご両親の同居・別居の状況、年齢をお答えください。

1. あなたの父親（同居・別居・死亡）（      歳）
2. あなたの母親（同居・別居・死亡）（      歳）
3. 配偶者の父親（同居・別居・死亡）（      歳）
4. 配偶者の母親（同居・別居・死亡）（      歳）

※（問 D-1）の答えが 1 または 2 以外の場合は、設問中の「と配偶者」を除き、選択肢の 3 と 4 は表示しない。

(問D-1)で 1. または 2. を選択した者→（問D-7）へ。それ以外は、（問D11）へ。

(問 D-7) あなたの現在の配偶者・パートナーの生年月を教えてください。「配偶者・パートナー」には、内縁・同棲中の方を含みます。

西暦\_\_\_\_\_年      \_\_\_\_\_月

(問 D-8) あなたの配偶者の最終学歴について、あてはまるものをお選びください。中退された場合は、その前の段階の卒業についてお答えください。

1. 中学卒業
2. 高校卒業
3. 専門学校卒業
4. 短期大学・高専卒業
5. 大学学部卒業
6. 大学院修了
7. その他（      ）

(問 D-9) あなたの現在の配偶者・パートナーは、収入を伴うお仕事をしていますか。また、収入を伴うお仕事をしている場合、1 週間にどれくらいの時間、働いていますか。

1. 収入を伴う仕事をしている
2. していない → （問 12）へ

↓



- 1日                      時間  
1週間                      時間 (月～金曜日、9時～17時まで働く場合、週40時間です)  
1年間                      週 (1年は52週です)

(問 D-10) あなたの配偶者・パートナーは、現在どのようなお仕事を主にされていますか。「自動車のセールス」、「小学校の教員」、「スーパーのレジ係」、「銀行の経理」、あるいは「○○を作っている」、「○○を売っている」のようにできるだけ具体的に教えてください。

職業： \_\_\_\_\_

→ (問 D-12) へ。

(問 D-11) あなたが独身でいる、あるいは再婚しない理由は、次の中から選ぶとすればどれですか。  
(複数回答可)

1. 結婚(再婚)するにはまだ若すぎるから
2. 結婚(再婚)するには年をとりすぎたから
3. 結婚(再婚)する必要性をまだ感じないから
4. 今は仕事(または学業)に打ち込みたいから
5. 今は趣味や娯楽を楽しみたいから
6. 独身の自由さや気楽さを失いたくないから
7. 適当な相手にまだめぐり会わないから
8. 異性とうまくつき合えないから
9. 収入が少ないから
10. 結婚(再婚)資金が足りないから
11. 結婚(再婚)生活のための住居のめどがたたないから
12. 親や周囲が結婚(再婚)に同意しない(だろう)から
13. 結婚(再婚)したら、その相手の心を傷つけてしまいそうだから
14. その他
- 15.

(問 D-12) あなたは、夕食を自分で作りますか。

1. ほぼ毎日作る
2. 週に5～6日は作る
3. 週に3～4日は作る
4. ほとんど作らない

(問 D-13) 日頃、夕食の準備をしたり、食べたりする場合に、どこで食物を購入(入手)したり、食べたりしていますか。(複数回答可)

1. スーパーマーケット、食料品店

2. コンビニエンスストア
3. 弁当・惣菜店、デパ地下など
4. 飲食店、社員食堂
5. 宅配
6. その他（具体的に

(問 D-14) あなたは、以下の活動をどのくらい行いますか。

毎日 週1回以上 月1回以上 ときどきやらない 興味がない

1. コンサート、映画等を見に行く
2. スポーツ観戦（野球、サッカーなど）
3. 自分でスポーツをする
4. 自分で芸術・音楽活動をする
5. 友人や親戚と会う
6. ボランティア活動
7. 資格取得の勉強
8. 本を読む
9. 新聞を読む
10. パソコン（仕事以外）で使う
11. SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス) facebook,twitter などの閲覧・書き込み

(問 D-15) あなたは、現在、以下の情報・通信 media を、収入を伴う仕事以外で毎日、どのくらい利用・視聴していますか。休日と仕事のある日に分けてご回答ください。

使わない 30分以内 30分～1時間 1～2時間 2～3時間 3～4時間 4時間以上

1. 携帯電話
2. iPad や iPod
3. パソコン ...
4. テレビ
5. ラジオ

## E. 働き方関連

- (問 D-2) で 4, 5, 6, 7, 8, 10 を選択 → (問 E-1) へ (非正規雇用者)  
 (問 D-1) で 1, 2 を選択 → (問 E-2) へ (正規雇用者)  
 (問 D-1) で 3, 9 を選択 → (問 E-16) へ (自営業・家族従業員)  
 (問 D-1) で 11, 12, 13, 14 を選択 → (問 F-1) へ (非労働力人口)

(問 E-1) パートやアルバイトなど正社員以外でのお仕事をされている方にお伺いします。現在、あなたがパートやアルバイトなどのお仕事をされている主な理由は何ですか。(複数回答可)

1. 自分の自由になる時間が多いから
2. 配偶者控除や130万円の壁（第3号被保険者にとどまるための要件）を考慮して
3. 育児のため
4. 家族の介護・看護のため
5. 自分の健康上の理由
6. 正社員になりたかったが、採用されなかったから
7. 責任の重い仕事はしたくないから
8. ボランティアやその他の活動に従事しているから
9. 資格取得などのための勉強をしているから
10. やりたい仕事が見つからないので、一時的に就いているから
11. 特に理由はない
12. その他（具体的に

（問 E-2） あなたの現在の勤め先は次のどの産業にあてはまりますか。

1. 農林漁業
2. 建設
3. 製造
4. 情報通信
5. 運輸・郵便
6. 卸売・小売
7. 金融・保険
8. 不動産
9. 学術研究
10. 宿泊・飲食
11. 娯楽
12. 教育
13. 医療・福祉
14. その他

（問 E-3） あなたの現在の勤め先の従業員数は全体で何人ですか。会社の場合、全国の事業所全体でお答えください。

1. 5人未満
2. 5-29人
3. 30-99人
4. 100-299人
5. 300-499人
6. 500-999人
7. 1000-4999人
8. 5000人以上

（問 E-4） あなたの職場では、正社員と非正社員の仕事の分担はどのようなものですか。非正社員とは、パートタイムやアルバイト、派遣社員、契約社員、嘱託の方のことをさします。（複数回答可）

1. 非正社員が正社員にかわって仕事をすることがある。
2. 以前は正社員の仕事だったものが、現在は非正社員の仕事になっている。
3. 正社員の仕事と非正社員の仕事は明確に分かれている
4. 非正社員は職場にいない
5. その他（具体的に

（問 E-5） あなたの勤め先には育児休業制度がありますか。

1. ある
2. ない
3. わからない

（問 E-5）の答えが1.の場合、（問 E-6）へ。それ以外は、（問 E-7）へ。

（問 E-6） あなたは、その育児休業制度を利用したことがありますか。あるいは今後利用したいと思いますか。

1. 利用したことがある
2. 今後利用したい
3. 利用したことはないし、今後も利用したくない

(問 E-7) あなたの職場では、育児と仕事の両立支援制度を利用する上での問題点として、次のようなものがあると思いますか。

ある                      ない

1. 他の従業員の負荷が高まる
2. 利用者のキャリアアップに支障が生じる
3. 利用者の給与が大幅に減る
4. 上司の理解を得にくい
5. それらの制度になじまない業務が多い
6. その他（具体的に      ）

上記の問題点のうち、最大の問題点を番号でご回答ください。 → [    番]

(問 D-1)の答えが 1.の場合、(問 E-8) へ。それ以外は、(問 E-12) へ。

(問 B-8) あなたの配偶者の勤め先には育児休業制度がありますか。

1. ある
2. ない
3. わからない

(問 E-8) の答えが 1. の場合、(問 E-9) へ。それ以外は、(問 E-10) へ。

(問 E-9) あなたの配偶者は、勤め先の育児休業制度を利用したことがありますか。あるいは今後利用する予定はありますか。

1. 利用したことがある
2. 今後利用したい
3. 利用したことはないし、今後も利用する予定はない

(問 E-10) あなたにとって、次のような見込みや計画はどのくらいありますか。

かなりある                      少しある                      ない

1. 今後 2 年以内に昇進する見込み（正規の仕事への転換も含む）
2. 現在の仕事で、2 年以内に解雇される可能性
3. 今後 2 年以内に転職する計画

(問 E-11) あなたの職場では、過去 3 年間に以下のようなことがありましたか。

ある                      ない

1. 解雇された人がいる

2. 希望退職した人がいる
3. 非正社員から正社員へ登用された人がいる.

(問 E-12) あなたは今後も今のお仕事を続けたいですか。同じ会社で配置や勤務地を変わりたい場合は、「この仕事を続けたい」とします。

1. 今後も今のお仕事を続けたい → (問 E-15) へ
2. この仕事の他に、別の仕事もしたい → (問 E-13) へ
3. 他の仕事に変わりたい → (問 E-13) へ
4. 仕事をすっかりやめたい → (問 E-15) へ

(問 E-13) どのような形でお仕事をしたいとお考えですか。

1. 正規の職員、従業員
2. パート・アルバイト
3. 労働者派遣事業所の派遣社員・契約社員
4. 自分で事業を起こしたい
5. 家業を継ぎたい
6. 内職
7. その他(具体的に： )

(問 E-14) どうして他の仕事もしたい、または変わりたいのですか。(複数回答可)

1. 今の仕事は一時的についた仕事だから
2. 収入が少ないから
3. 勤務先の事業が不振、先行きが不安だから
4. 勤務先での人間関係がうまくいっていないから
5. 今の仕事は自分に向いていないから
6. 雇用契約の満了に備えて
7. 時間的・肉体的負担が大きいから
8. 知識や技能をもっと生かしたいから
9. 余暇を増やしたいから
10. 育児のため
11. 家族の介護・看護のため
12. その他 (具体的に： → (問 E-8) へ

(問 E-15) あなたの属する勤務先の発展をどのように見込んでいるかについてお伺いします。被雇用者の数はこの先 2 年間に増えると思いますか。減ると思いますか。

1. 増えるだろう
2. 減るだろう
3. 変わらないだろう

(問 E-16) あなたの現在の仕事は、次のどれにあてはまりますか。わからない方は、ここをクリックしてあてはまるものがあれば探してください。

1. 専門的・技術的な仕事
2. 管理的な仕事
3. 事務の仕事
4. 販売の仕事
5. サービスの仕事
6. 保安の仕事
7. 運輸・通信の仕事
8. 生産工程・労務の仕事

(問 E-17) いつも週に何時間くらい働いていますか。有給無給を問わず残業時間も含めてお答えください。

1. \_\_\_\_\_時間
2. わからない

(問 E-18) 今後2年間にあなたご自身が失業する可能性はあると思いますか。

1. かなりある
2. ある程度ある
3. あまりない
4. まったくない
5. わからない

(問 E-19) あなたは、ご自分の仕事と家庭生活の両立に関して、次のような気持ちになることはありませんか。

全くあてはまらない      あまりあてはまらない      どちらともいえない

まあ、そのとおりである      全くそのとおりである

1. 職務を果たすのに多くの時間を使うため、家族との活動ができないことがある
2. 仕事から帰ったとき、精神的に疲れ切っていて、家族のために何もすることが出来ないことがよくある
3. 家族としての責任に時間を費やすために、自分の職務が妨げられることがよくある
4. 家庭でのストレスのために、職場でも家族のことが頭を離れないことがよくある
5. 配偶者の協力が得られないことがよくある

## **F. 子育て関連**

(問 F-1) あなたには、同居・別居の子どもはそれぞれ何人いらっしゃいますか。(年齢、実子、養子・継子かにかかわらず、すべてのお子さんについてお答えください。)

1. 同居している子 (      人)
2. 別居している子 (      人)

子どもがいない場合は、(問 F-10) へ。

(問 F-2) 上から@番目のお子さまについておたずねします。男性ですか。女性ですか。

1. 男性
2. 女性

(問 F-3) @番目のお子さまの生年月を教えてください。

西暦            年            月

(問 F-4) 現在、@番目のお子さまはどのような状況ですか。

1. 同居    2. 別居（仕送りあり）    3. 別居（仕送りなし）

(問 F-5) 現在、@番目のお子さまは何をされていますか。

1. 小学校就学前（保育園・幼稚園に通っているものも含みます）
2. 就学中（小学校・中学校・高校・短大・専門学校・大学・予備校も含みます）
3. 就労中（フルタイム・パート・その他非正規雇用含む）
4. その他

(問 F-6) 以下にあげた教育・保育施設のうち、@番目のお子さまが、現在通っている学校または最後に在籍した学校はどれですか。ひとつ選んでください。定時制も含め、中退・卒業に関係なくお答えください。

1. 保育園・幼稚園にまだ通っていない
2. 保育園
3. 幼稚園
4. 小学校
5. 中学校
6. 高校（公立）
7. 高校（私立・国立）
8. 専門学校（専修課程／入学資格・中卒以上）
9. 専門学校（高等課程／入学資格・高卒以上）
10. 短期大学・高等工業専門学校（高専）
11. 大学
12. 大学院
13. その他

(問 F-7) あなたのご家庭では、次の項目の支出に1か月でいくらかかっていますか。あてはまるすべてのお子さんについての合計でお答えください。（だいたいで結構です。）

1. 学校にかかる費用（授業料、給食費、教材費、PTA 費、施設整備費、学校納付金など）。幼稚園を除く。1か月で \_\_\_\_\_ 円くらい
  2. 学習塾、予備校、家庭教師、通信添削、英会話など学校以外の教育にかかる費用1か月で \_\_\_\_\_ 円くらい
  3. お稽古事、スポーツクラブなど（学習塾、英会話を除く）の費用1か月で \_\_\_\_\_ 円くらい
  4. 幼稚園、保育所や託児所、保育ママ、ベビーシッター、学童保育などの費用1か月で \_\_\_\_\_ 円くらい
- お子さんへの仕送り（大学生などの別居のお子さんへの仕送り。授業料は除きます。）  
1か月で \_\_\_\_\_ 円くらい

(問 F-8) あなたの最初のお子さんが小学校入学前までの間、あなたやあなたの配偶者・パートナーは収

入を伴うお仕事をしていましたか。お子さんがゼロ歳から3歳になるまでと、3歳から小学校入学までに分けて下記の表にそれぞれ記入してください。

0歳から3歳未満のとき

- |                        | ご自身 | 配偶者 |
|------------------------|-----|-----|
| 1. 正規の職員・従業員だった        |     |     |
| 2. パート・アルバイト・派遣社員などだった |     |     |
| 3. 自由業・自営業に従事していた      |     |     |
| 4. 収入を伴う仕事はしていなかった     |     |     |
| 5. その他（具体的に            | )   |     |
| 6. 当時、配偶者・パートナーはいなかった  |     |     |

3歳から入学まで

- |                        | ご自身 | 配偶者 |
|------------------------|-----|-----|
| 1. 正規の職員・従業員だった        |     |     |
| 2. パート・アルバイト・派遣社員などだった |     |     |
| 3. 自由業・自営業に従事していた      |     |     |
| 4. 収入を伴う仕事はしていなかった     |     |     |
| 5. その他（具体的に            | )   |     |
| 6. 当時、配偶者・パートナーはいなかった  |     |     |

(問 F-9) 自分が病気などで倒れた時に、だれがお子さまの面倒を見ますか。

- |                   |                     |            |            |
|-------------------|---------------------|------------|------------|
| 1. 配偶者            | 2. 自分の祖父母           | 3. 配偶者の祖父母 | 4. 自分の父母   |
| 5. 配偶者の父母         | 6. 親戚               | 7. 保育ママ    | 8. ベビーシッター |
| 9. 友人・知人・近所の人     | 10. ファミリー・サポート・センター |            |            |
| 11. 面倒をみてくれる人はいない |                     |            |            |

(問 F-10) 子づくりについて、あなたは次のどれに当てはまりますか。

1. 現在、子づくり中である。
2. 現在は子づくりをしていないが、5年以内に子づくりを計画している
3. 現在は子づくりをしていないが、これからも子づくりの計画はない
4. その他

(問 F-10) で3. を答えた場合、(問 F-11) へ。それ以外は、(問 F-14) へ。

(問 F-11) あなたは、今後、出産の計画はないということですが、その主な理由は何でしょうか。当てはまるものをすべてお答えください。

1. 子どもは産み終わったから
2. 配偶者が子供を望まないから



3. 仕事に専念したいから
4. 仕事と育児の両立が難しいから
5. 自分の時間を奪われたくないから
6. 教育費・養育費など経済的負担が大きいから
7. 出産・育児は体力的に大変だから
8. その他

(問 F-12) 今後、お子さんは(もっと)欲しいですか。現在お子さんがいらっしゃる方は、欲しいお子さんの数をお考えください。

1. ぜひ、欲しい → (あと)何人くらいお子さんは欲しいですか。 \_\_\_\_\_人
2. 場合によっては欲しい → (あと)何人くらいお子さんは欲しいですか。 \_\_\_\_\_人
3. 欲しくない

→ 問 へ

(問 F-13) 仮に、収入が、月額でいくら増えたら、お子さんをさらに、または新たに一人産もうと思いますか。

1. 月額 \_\_\_\_\_万 \_\_\_\_\_千円くらい増えたら、もう一人産みたい
2. 収入がいくら増えても子供は(もう)いない
3. 子供を産むか産まないかは収入とは関係ない

(問 F-14) 妊娠や出産に関する記述について、あてはまると思う方を選んでください。

そう思う          そう思わない

1. 喫煙で女性の受胎能力は低減する
2. 今日では40代の女性でも30代の女性と同じくらい妊娠する可能性がある
3. 性病に罹ったことのある人は受胎能力が減少する
4. 妊娠中の過度の飲酒は胎児の発育に悪影響を与える可能性がある
5. 妊娠中・授乳中の飲酒・喫煙は胎児・赤ちゃんに悪影響を及ぼす

(問 F-15) ゼロ歳児保育について伺います。現在お子さんのいる方もいない方もお答えください。ゼロ歳児を保育園で預かると、東京都では1ヶ月に50万円前後の費用(実費)がかかると言われています。あなたのお考えは次のどれに近いと思いますか。

1. ゼロ歳児保育は費用がかかるため、その父母や家族が自宅で育てるべきである。
2. ゼロ歳児でも必要があれば、保育園等で保育すべきである。費用を低くする必要はない。
3. ゼロ歳児でも必要があれば、保育園等で保育すべきである。ただし、費用が高すぎるので、もっと低くする必要がある。

月額5万円程度 月額10万円程度 月額15万円程度 月額20万円程度 月額25万円程度  
月額30万円程度 月額35万円程度 月額40万円程度 月額45万円程度  
(該当する額を選んでください)

(問 F-16) 行政が行う社会保障などの施策に関して、あなたはそれぞれどれくらい期待していますか。  
また、あなたのもっとも期待する施策を1つ選んでください。

1. 職場における育児休業の取得促進
2. 子ども手当、児童手当、奨学金の拡充
3. 出産・育児を機に離職をした女性の復職支援
4. 妊娠・出産にかかる費用軽減・公的助成支援の拡大
5. 子どもの医療費無料化・軽減
6. 保育所の整備（病児保育も含む）
7. 学童保育の整備・充実
8. 若者に対する就業支援の充実
9. 婚外子に対する平等な扱い
10. 夫婦別姓の法的容認
11. 公的年金制度の充実（年金支給額の引き上げなど）
12. 高齢者の医療費負担の軽減
13. 介護保険制度の充実（介護保険料の負担軽減など）
14. 失業保険制度の充実
15. 労災保険制度の充実
16. その他（ ）
17. 期待するものはない

上記の政策のうち、最も期待するものの記号を1つお答えください。（ ）

(問 F-17) 上記の社会保障施策の充実には財源が必要な場合があります。その場合、あなたのお考えにもっとも近いのは次のどれでしょうか。(複数選択可)

1. 消費税の増税で賄う
2. 所得税・法人税・相続税・贈与税・固定資産税の増税で賄う
3. 社会保険料の引き上げで賄う
4. 国債を発行して賄う
5. 行政における無駄の徹底的な排除で賄う
6. お年寄りへの財政支援（年金給付、医療福祉サービス等）を減らして賄う
7. 子育て支援（各種手当等）を減らして賄う
8. 社会保障施策の充実は今後必要ない
9. その他：具体的に（ ）

上記の政策のうち上記のうち最も重要と思われるものを順に3つあげるとすればどれですか。記号でご記入ください。

最も重要 ( )      2 番目に重要 ( )      3 番目に重要 ( )

## G. 両親関連

(問 G-1) あなたが 15 歳の頃、ご両親は…。

1. 結婚していた (内縁を含む)
2. 離婚していた
3. 別居していた
4. 死別していた
5. その他 (具体的に: \_\_\_\_\_ )

(問 G-2) お父さんの生年、年齢についてお答えください。

生年 \_\_\_\_\_ 西暦 \_\_\_\_\_ 年  
ご健在の場合、現在おいくつですか \_\_\_\_\_ 歳

(問 G-3) お父さんの通われた学校は右のうちのどれですか。中退、卒業に関係なくお答えください。

1. 中学校
2. 高校・旧制中学
3. 専門学校
4. 短大・高専
5. 大学
6. 大学院
7. わからない

(問 G-4) あなたが 15 歳のころ、お父さんは、収入を伴う仕事をしていましたか。

1. はい
2. いいえ
3. 当時、父はいなかった → (問 G-8) へ

(問 G-5) お父さんはどのようなお仕事をしていましたか。「小学校の教員」、「銀行の経理」、あるいは「〇〇を作っている」のようにできるだけ具体的にお答えください。

\_\_\_\_\_

(問 G-6) お父さんがお仕事をしていた企業・事業所の主な事業内容はどのようなものでしたか。「自動車の製造」「病院」など具体的にお答えください。

\_\_\_\_\_

(問 G-7) お父さんは、お仕事の内容について、あなたが子供のころ、あなたに直接話すことはありまし

たか。

1. よく話した
2. ときどき話した
3. あまり話さなかった
4. ほとんど話さなかった

(問 G-8) お母さんの生年、年齢についてお答えください。

生年 \_\_\_\_\_ 西暦 \_\_\_\_\_ 年  
ご健在の場合、現在おいくつですか \_\_\_\_\_ 歳

(問 G-9) お母さんの通われた学校は右のうちのどれですか。中退、卒業に関係なくお答えください。

1. 中学校
2. 高校・旧制中学
3. 専門学校
4. 短大・高専
5. 大学
6. 大学院
7. わからない

(問 G-10) あなたが 15 歳のころ、お母さんは、収入を伴う仕事をしていましたか。

1. はい
2. いいえ
3. 当時、母はいなかった → (問 G-14) へ

(問 G-11) お母さんはどのようなお仕事をしていましたか。「小学校の教員」、「銀行の経理」、あるいは「〇〇を作っている」のようにできるだけ具体的にお答えください。

\_\_\_\_\_

(問 G-12) お母さんがお仕事をしていた企業・事業所の主な事業内容はどのようなものでしたか。「自動車の製造」「病院」など具体的にお答えください。

\_\_\_\_\_

(問 G-13) お母さんは、お仕事の内容について、あなたが子供のころ、あなたに直接話すことはありましたか。

1. よく話した
2. ときどき話した
3. あまり話さなかった
4. ほとんど話さなかった

(問 G-14) あなたのお母さんは、あなたが生まれてから小学校入学までの間、仕事をしていましたか。

1. はい                      2. いいえ                      3. 当時、母はいなかった

(問 G-15) あなたのお母さんの就業経歴について、あてはまるものを選んでください。

1. 結婚前からずっと勤めを続けてきた
2. 結婚または出産後、仕事をやめて、その後再就職はしていない
3. 結婚または出産後、仕事をやめたが、子供が大きくなってから再就職した
4. ずっと自営の仕事（農業を含む）や内職を続けてきた
5. ずっと家事・育児をしてきた
6. その他（具体的に \_\_\_\_\_ )
7. わからない

(問 G-16) あなたが 15 歳の頃、あなたの世帯の収入は、隣近所の世帯と比べてどうでしたか。

1. かなり少なかった
2. 少なかった
3. ほぼ同じ
4. 多かった
5. かなり多かった
6. 覚えていない
7. 回答したくない

(問 G-17) あなたが 15 歳の頃、あなたのご家庭の状況はいかがでしたか。

はい    いいえ    覚えていない    回答したくない

1. あなたを塾・習い事に通わせていた
2. 新聞を定期購読していた
3. 雑誌を定期購読していた
4. 自動車（マイカー）を持っていた
5. 持ち家であった
6. レストランなどで外食をよくした
7. 子供用の個室があった
8. 自宅に風呂があった
9. 自宅にトイレがあった
10. エアコンがあった
11. 自治体の図書館カードがあった
12. 親は愛情を注いであなたを育ててくれた
13. 親と一緒にスポーツや遊びをした
14. 子育てに無関心な親であった
15. 親は、学校の勉強をよくみてくれた

16. 子供に平気で暴力をふるう親であった
17. 生真面目で何事もおろそかにしない親であった
18. 我慢強く、怒ることはあまりない親であった
19. ストレスに弱い親であった
20. 向上心の強い親であった
21. 喧嘩が絶えず夫婦仲の良くない親であった
22. 親は飲酒について節度を持っていた
23. 母親が喫煙していた
24. 親は病気がちであった
25. 互いに助け合い、支えあう親であった

(問 G-18) あなたは、現在、ご両親や配偶者のご両親からどのような支援を受けていますか。すべてお答えください。

自分の父親    自分の母親    配偶者の父親    配偶者の母親

1. 経済的支援（生活費の援助など）を受けている
2. 家事の手助け（食事の準備、掃除、洗濯など）を受けている
3. 育児の手助け（学校・幼稚園への送り迎えなど）を受けている
4. 何も支援を受けていない

(問 G-19) あなたが中学生の頃の友人関係について教えてください。(あてはまるところはいくつでも)

1. 同性の友人（話をしたり遊んだりする友人）がいた → (                    ) 人くらい
2. 同性の親しい友人（悩みを相談できる友人）がいた → (                    ) 人くらい
3. 異性の友人がいた → (                    ) 人くらい
4. 異性の友人はいなかった
5. 同性異性ともに、友人はあまりいなかった
6. 他の人とは、つきあいたくなかった

## **H. 老後関連**

(問 H-1) あなたは、①65～69 歳、②70～74 歳、③75 歳以上 のそれぞれの時点において、何を主な生活収入源として想定していますか。重要なものの順に上から 3 つ挙げてください。

- |                       |             |                   |
|-----------------------|-------------|-------------------|
| 1. 仕事による収入            | 2. 公的な年金    | 3. 企業年金（退職一時金を含む） |
| 4. 個人年金               | 4. 預貯金      |                   |
| 5. 親からの支援（相続・生前贈与を含む） |             | 6. 子からの支援（同居を含む）  |
| 7. 生活保護               | 8. 何も考えていない |                   |

(問 H-2) あなたは、①65～69 歳、②70～74 歳、③75 歳以上 のそれぞれの時点において、どなたと

一緒に住もうと考えていますか。当てはまる人をすべて挙げてください。

1. 親（配偶者の親を含む）
2. 子
3. きょうだい
4. 配偶者
5. 孫
6. 親戚
7. ひとり
8. 友人
9. その他

（問 H-3）あなたは、要介護状態になったとき、どなたに介護してもらうことになると考えていますか。当てはまる人をすべて挙げてください。

1. 配偶者
2. 子ども（養子・継子を含む）
3. 実子の配偶者
4. 介護ヘルパー
5. 親・きょうだい・親戚
6. 親戚
7. 友人
8. 介護サービス付きの施設に入る
9. その他

## I. 住宅・地域関連

（問 I-1）現在お住まいの住居は、次のどれになりますか。

1. 持ち家
2. 民間賃貸住宅
3. 公営・公団・公社などの賃貸住宅
4. 社宅（借り上げ社宅を含む）、寮、公務員住宅などの給与住宅
5. その他（具体的に

（問 I-2）現在お住まいの住居は、一戸建てですか、集合住宅ですか。

1. 一戸建て
2. 集合住宅（マンション、アパートなど）

（問 I-1）で1. を選択→（問 I-3）へ。

（問 I-1）で1. 以外を選択→（問 I-6）へ。

（問 I-3）現在お住まいの家に関する質問です。

①住宅ローンが残っていますか。

1. はい、ローンが残っている
2. いいえ、ローンはない

②相続や贈与で取得しましたか。

1. はい
2. いいえ

（問I-4）利息を含めた月々のローンの支払いはいくらですか？正確な金額が不明な場合は、大体でかまいませんのでお答えください。

住宅ローンと利息の支払い 月々 

+	-

 万 

--

 千円くらい

(問 I-5) 仮に、今お住まいの物件（土地を含む）をただちに売ると、いくらで売れると思いますか。


億 万円くらい

→ (問 I-7) へ。

(問 I-6) 現在お住まいの住宅の、月々の家賃はいくらですか。(共益費・駐車場代を含む)


月々 万円 千円くらい

賃料を払っていない

(問 I-7) 現在お住まいの住宅や設備について、お尋ねします。

はい

いいえ

1. 住宅が狭すぎる
2. 住宅が広すぎる
3. 建てつけが悪くなっている
4. 耐震性に問題がある
5. 水漏れや漏電の恐れがある
6. 住宅の内部全体が汚い
7. 通風が悪い
8. アンペアが足りない
9. コンセントの差し込み口が少ない
10. 天井が低すぎる
11. 防犯上の問題がある
12. 自宅に風呂がある
13. 自宅にトイレがある
14. エアコンがある
15. 現在の住宅を5年以内にリフォームする
16. 5年以内に転居することを計画している
17. 独立した子供部屋がある
18. 子供部屋はあるが、男女別々となっていない

(質問 I-8) 下の施設まで日常の交通手段（徒歩、自転車、自動車、バスなど）でどのくらいかかりますか。

- |      |       |        |       |            |
|------|-------|--------|-------|------------|
| 5分未満 | 5～10分 | 10～20分 | 20分以上 | どこにあるか知らない |
|------|-------|--------|-------|------------|
1. スーパー、コンビニ



2. 銀行、郵便局
3. 小児科のある診療所・病院
4. 保育施設、幼稚園
5. 学童保育所
6. 鉄道の駅やバス停
7. 市役所、町村役場（出張所込み）
8. 警察署（交番）
9. ハローワーク
10. 年金事務所
11. 保健所
12. 社会福祉事務所
13. 公園（自転車やボール遊びのできる）

（質問 I-9）あなたにとって、使いやすく、親切なのはどの施設ですか。あてはまるものにはいくつでも選んでください。

1. 保育所、幼稚園
2. 学童保育所、各種保育施設
3. 小学校、中学校
4. 近所の診療所
5. 総合病院
6. 近所の薬局、ドラッグストア
7. ハローワーク（職業安定所）
8. 年金事務所（旧社会保険事務所）
9. 社会福祉事務所
10. 保健所
11. 市区役所、町村役場（出張所含む）
12. 地域包括支援センター
13. 介護施設
14. 地域若者サポートステーション
15. ジョブカフェ
16. スーパー、コンビニ、デパート
17. 銀行、郵便局
18. 警察署（交番）、消防署
19. その他：具体的に（                      ）

そのうち、もっとも使いやすく、親切な施設はどれですか。        [        ] 番

（質問 I-10）あなたの居住地域の安全性や環境に問題はありますか。

まったくない    多少はある    大いにある

1. 騒音
2. 空気の汚染
3. 空き巣などの犯罪
4. 落書きやごみの放置
5. 交通事故の危険
6. 夜の一人歩きの危険
7. 隣近所をめぐるストレス
8. 自然災害の危険

（ここで自然災害とは、土砂崩れ、洪水、地割れ、地盤沈下、液状化等を指します）

## **J. 主観的厚生関連**

（問J-1）あなたの現在の健康状態はいかがですか。

1. よい
2. まあよい
3. ふつう
4. あまりよくない

5. よくない

(問J-2) 過去1 ヶ月の間、どのくらいの頻度で次のことがありましたか。

いつも たいてい ときどき 少しだけ 全くない

1. 神経過敏に感じましたか
2. 絶望的だと感じましたか
3. そわそわしたり、落ち着きなく感じましたか
4. 気分が沈みこんで、何が起ころうとも気が晴れないように感じましたか
5. 何をするのも骨折りだと感じましたか
6. 自分は価値のない人間だと感じましたか

(問J-3) 次の質問についてどのように思いますか。

はい いいえ 分からない

1. 自分は親の世代より豊かになれる
2. 10年後の自分は今より生活水準が上がり、生活が安定している
3. 子育てや家事で困ったときに、配偶者が助けてくれる (有配偶者のみ回答)

(問J-4) あなたの生活満足度についての質問です。

全体的に考えて、現在の生活にどれくらい満足していますか。

1. とても不満
2. 不満
3. どちらかという不満
4. どちらかという満足
5. 満足
6. とても満足

5年後にはどう感じていると思いますか。

1. とても不満
2. 不満
3. どちらかという不満
4. どちらかという満足
5. 満足
6. とても満足

(問D-2) で1. ～10. を選んだ場合のみ

(問J-4) あなたは、現在の仕事の内容にどのくらい満足していますか。

1. 満足している

2. どちらかといえば満足している
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば不満である
5. 不満である

(問D-1) で1. を選んだ場合のみ

(問J-5) あなたは、現在の結婚生活にどのくらい満足していますか。

1. 満足している
2. どちらかといえば満足している
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば不満
5. 不満である

(問J-6) 心配ごとや困りごとがあるとき、次の人たちはどのくらい相談に乗ってくれますか。

かなり いくらか 少し 全くない 該当者がいない

1. 配偶者
2. 配偶者以外の同居家族
3. 別居の家族や親族
4. 近所の人
5. 友人
6. 公的機関（役所の相談窓口・児童相談所など）
7. NPO

(問J-7) 日頃の生活でちょっとした手助けが必要なとき、次の人たちはどのくらい手助けをしてくれますか。

かなり いくらか 少し 全くない 該当者がいない

1. 配偶者
2. 配偶者以外の同居家族
3. 別居の家族や親族
4. 近所の人
5. 友人
6. 公的機関（役所の相談窓口・児童相談所など）
7. NPO

(問J-8) 仮に社会全体を上から順に次の5つの階層に分けるとすれば、あなた自身は、どこに入ると思いますか。

1(上) 2(中の上) 3(中の中) 4(中の下) 5(下)

(問 J-9) あなたはこれから先に、何か楽しみにしている計画はありますか。

1. 1年以内にある
2. 1年以上先にある
3. 楽しみにしている計画はない

(問 J-10) あなたご自身やあなたのご家族（配偶者、お子さん、ご両親、祖父母など）で、現在、次に掲げるいずれかの病気の症状が重く、あなたの就業や結婚、子育てに差しさわりのある人がいらっしゃいますか。

あなたご自身	はい	いいえ
あなたのご家族	はい	いいえ

1. 心臓や血管の病気
2. 肺の病気
3. 胃や腸の病気
4. 精神的な病気
5. 目・耳・鼻の病気
6. 皮膚の病気やアレルギーなど
7. 骨折、大けが
8. その他（具体的に ）
9. 病気やけがが重い家族はいない

(問 J-11) 前問で「はい」と答えた場合、入院しているかどうかお答えください。

あなたご自身	入院している	入院していない
あなたのご家族	入院している人がいる	入院している人はいない

(問 J-12) あなたは成人病予防や健康の維持・管理のために次のようなことを行っていますか。（複数回答可）

1. ジョギングやウォーキングなどを定期的に行う
2. スポーツジムに定期的に通う
3. ストレッチを毎日行う
4. 通勤時は、徒歩、自転車、階段などを利用する
5. 朝食は必ず食べる
6. 肉・魚など、たんぱく質を含むものを毎日食べる
7. 野菜や果物を毎日食べる
8. 塩分やカロリーを控えめにする
9. 揚げ物など、脂っこいものを控えめにする
10. こまめに水分補給をする
11. 暴飲・暴食を避ける
12. 睡眠を十分にとる
13. ストレスをためないようにしている

- 14 特になにもしていない
- 15. その他（具体的に ）

**K. 所得・資産関係**

（問 K-1） あなたご自身の昨年の年間収入（税込み）はどのくらいですか。働いて得た収入だけでなく株式配当、不動産収入などすべての収入を合わせてください。

あなたご自身の税込み年収 

千	百	十	-

 万円くらい

（問 K-2） あなたの配偶者（パートナー・同棲相手）の方の昨年の年間収入（税込み）はどのくらいですか。働いて得た所得だけでなく、株式配当、不動産収入などすべての収入を合わせてください。

配偶者の税込み年収 

千	百	十	-

 万円くらい

配偶者の所得についてはわからない

（問 K-3） あなたの世帯全体（あなたを含めて同居している方全員、単身赴任の配偶者も含めます）での昨年1年間の税込みの年収は、おおよそいくらでしたか。働いて得た収入だけでなく、年金、金融資産、不動産投資などで得た収入（利子、配当、地代、家賃）などすべてを含めてお答えください。

世帯全体の税込み年収 

千	百	十	-

 万円くらい

（問 K-4） あなたは住宅の購入時やお子さんの入学時に、両親や祖父母から金銭的に支援をしてもらったことがありますか。

1. はい      →      

千	百	十	-

 万円くらい

2. 住宅の購入時や子供の入学時に金銭的な支援はしてもらわなかった

3. 該当しない

(問 K-5) あなたご自身の資産についてお伺いします。あなたご自分の名義の預貯金の総額と債権、株式などをすべて売却した場合の総額を合わせて、いくらお持ちですか。

	億		千		百		十		-		万円くらい
--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	-------

預貯金などはない

(問 K-6) 配偶者の方（パートナー・同棲相手を含む）がおられる方にお伺いします。配偶者の方の名義の預貯金の総額と債権、株式などをすべて売却した場合の総額を合わせて、いくらお持ちですか。

	億		千		百		十		-		万円くらい
--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	-------

預貯金などはない

配偶者の預貯金についてはわからない

(問 K-7) 引退前までに、あわせてどれくらいの貯蓄残高を目標にしていますか。

	億		千		百		十		-		万円くらい
--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	-------

1. 最終的に

2. 特に目標はない

(問 K-8) あなたは、いままでに生前贈与や遺産などを受け取られましたか。受け取られたことがある場合、その総額をお答えください。配偶者の方が受け取られた生前贈与や遺産の分も含めてお答えください。

	億		千		百		十		-		万円くらい
--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	-------

1. 生前贈与や遺産を受け取ったことがある → 総額

2. 生前贈与や遺産を受け取ったことはない

(問 K-9) あなたは、今後、生前贈与や遺産などを受け取られる予定はありますか。

1. 生前贈与や遺産を受け取る予定がある → 総額  億 

千	百	十	一

 万円くらい
2. 生前贈与や遺産を受け取る予定はない
3. わからない

(問 K-10) あなたは、将来、自分の子ども等に遺産を残す予定ですか。以下の中からもっとも近いお考えを1つお選びください。

1. 遺産は自分の代に購入したものを含め、全てを子どもに残す
2. 親から受け継いだ遺産は子どもに残すものの、自分の代に購入した財産は全て自分の代で使い切る予定である
3. 子どもが老後の面倒を見てくれたら、その子に遺産を残す
4. 子どもが家業を継いでくれたら、その子に遺産を残す
5. 遺産は全て自分の代で使い切る予定であり、子どもには残さない
6. 子供がいない（または、子どもを作る予定がない）ので、遺産は残さない
7. 子供はいる（または、子どもを作る予定はない）が、遺産は社会に寄附したり、身内の誰かに残す
8. 遺産を残すかどうかは考えたことがないので、この質問には答えられない
9. その他（具体的に\_\_\_\_\_）